

# 日本音楽理論研究会

## 第33回例会のお知らせ

### 【拡散希望】

参加資格限定なし・関心のある方はどなたでもご参加ください！

日時：2018年10月7日(日)12:20-17:50 (開場 12:10)

【開始時間が微妙なのでご注意ください】

会場：国立音楽大学AI(アイスタジオ) (JR 国立駅南口下車、国立音楽大学附属幼稚園地下)

〒186-0004 東京都国立市中 1-8-25 TEL: 042-573-5633

参加費：一般 ¥2000/学生 ¥1000 【当日飛び入り大歓迎！】

懇親会：参加費 ¥2000 18時より「ロージナ茶房」

### ＝プログラム＝

- 開会の辞 … 発表者による3分プレゼンテーション (12:20～)
- 1. 谷和明：シューベルト《冬の旅》テキストの社会思想史的解釈の試み (12:40～、90分)
- ※ 休憩 20分
- 2. 今野哲也：F.シューベルト交響曲第7番口短調 D759「未完成」の和声構造 (14:50～、40分)
- 3. 瀬川裕美子：ブーレーズの内的必然性とは～ピアノソナタ第3番をめぐって～ (15:50～、40分)
- 4. 川本聡胤：ヴィジュアル系 J-POP の楽曲分析 (16:50～、40分)

シューベルト《冬の旅》のテキスト解釈は様々な側面から行われていますが、いまだに謎に秘めています。あたかも推理小説の謎解きのような谷和明氏の研究は、テキスト解釈にかなり依存する声楽曲の音楽分析に多くの示唆を与えてくれるでしょう。このメイン発表に続いて、同じくシューベルトのスタンダード・ナンバー《未成交響曲》の魅力のメカニズムはどこに？ 転じて、第2次大戦後の「管理された偶然性」によるブーレーズ第3ソナタについてピアニストによる発表。そして最後はポピュラー音楽の分析です。発表ごとに20分の質疑応答の時間を確保しています。みなさまの奮ってのご参加をお待ちしております。(発表概要は、当会ホームページをご覧ください。)

\*\*\*\*\* 今後の例会の予定(発表者募集中) \*\*\*\*\*

※ 注意： 日程・時間・内容等、変更になる場合がありますので、最新情報はホームページなどでご確認ください。

☆ 第34回例会 2019年5月12日(日) 13:30-17:50 詳細未定

☆ 第35回例会 2019年10月6日(日) 13:30-17:50 詳細未定

\*\*\*\*\*

日本音楽理論研究会事務局(本部) Secretariat of THE SOCIETY FOR MUSIC THEORY OF JAPAN

HP: <http://sound.jp/mts/j/> TEL & FAX: 097-545-4374 Email: [endo@oita-pjc.ac.jp](mailto:endo@oita-pjc.ac.jp)

〒870-0833 大分市上野丘東 1-11 大分県立芸術文化短期大学音楽科 遠藤研究室気付

日本音楽理論研究会東京事務局 Tokyo office of THE SOCIETY FOR MUSIC THEORY OF JAPAN

Email: [dolcecanto2003jp@yahoo.co.jp](mailto:dolcecanto2003jp@yahoo.co.jp) (見上潤 Mikami Jun)